

NEWSLETTER

比較経済体制学会

No.71 August 2024

Contents

- ・ 学会運営細則，役員選挙細則，若手会員旅費助成規程の改正について
- ・ 比較経済体制学会 2024 年度第 64 回全国大会を終えて
- ・ 比較経済体制学会 2025 年度第 65 回全国大会について
- ・ 比較経済体制学会 2025 年度若手会員旅費助成の募集について
- ・ 新入会員のご紹介
- ・ 事務局からのお知らせ（会員情報）
- ・ 学会機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・ 比較経済体制学会第 64 回会員総会議事録
- ・ JCREEES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）関連の報告
- ・ 事務局だより

学会運営細則，役員選挙細則，若手会員旅費助成規程の改正について

学会運営細則，役員選挙細則，若手会員旅費助成規程の改正が，第 64 回全国大会会員総会で承認されました。

改正内容と，新旧対照表は下記の通りです。

- ・ 運営細則第 2 条（2）で，選挙で選ばれた幹事に限定せず，事務局担当幹事（選挙で選ばれなかった場合）と大会組織委員長の幹事も，幹事会の成立要件に含めました。
- ・ 役員選挙細則第 2 条を改正し，郵便投票またはオンライン投票を導入しました。選挙に際しては，選挙管理委員会を発足させます。
- ・ 若手会員旅費助成規程を改正し，応募締め切りを助成対象となる大会が開催される 3 ヶ月前から 1 ヶ月前に変更しました。また，助成に際して幹事会の了承を不要としました。

旧	新
2004 年 6 月 4 日制定	2004 年 6 月 4 日制定
2005 年 6 月 4 日改正	2005 年 6 月 4 日改正
2010 年 6 月 4 日改正	2010 年 6 月 4 日改正
2011 年 6 月 4 日改正	2011 年 6 月 4 日改正
2017 年 9 月 16 日改正	2017 年 9 月 16 日改正
2023 年 6 月 3 日改正	2023 年 6 月 3 日改正
	2024 年 6 月 29 日改正

<p>比較経済体制学会運営細則</p> <p>(幹事会)</p> <p>第2条</p> <p>(1) 幹事会は、代表幹事が必要と認めるとき、または幹事の3分の1以上が要求するときに開催される。</p> <p>(2) 幹事会の成立のためには、比較経済体制学会役員選挙細則第1条による選挙で選ばれた幹事総数の3分の2以上の出席(持ち回り幹事会の場合は3分の2以上の投票)を必要とする。また欠席幹事から提出された委任状は、出席者総数に算入する。</p> <p>(3) 幹事会の議長は代表幹事がつとめ、事故等ある時は代表幹事が指名したものがこれをつとめる。</p> <p>(4) 幹事会の決定は、出席幹事(投票幹事)の過半数による。賛否同数の場合は議長が決定する。</p>	<p>比較経済体制学会運営細則</p> <p>(幹事会)</p> <p>第2条</p> <p>(1) 幹事会は、代表幹事が必要と認めるとき、または幹事の3分の1以上が要求するときに開催される。</p> <p>(2) 幹事会の成立のためには、比較経済体制学会役員選挙細則第1条による選挙で選ばれた幹事総数の3分の2以上の出席(持ち回り幹事会の場合は3分の2以上の投票)を必要とする。また欠席幹事から提出された委任状は、出席者総数に算入する。</p> <p>(3) 幹事会の議長は代表幹事がつとめ、事故等ある時は代表幹事が指名したものがこれをつとめる。</p> <p>(4) 幹事会の決定は、出席幹事(投票幹事)の過半数による。賛否同数の場合は議長が決定する。</p>
--	---

旧	新
<p>1967年10月27日決定</p> <p>1973年9月22日改正</p> <p>1977年6月4日改正</p> <p>1985年6月8日改正</p> <p>1989年5月20日改正</p> <p>1990年5月18日改正</p> <p>1993年5月28日改正</p> <p>2000年6月2日改正</p> <p>2001年6月1日改正</p> <p>2003年6月6日改正</p> <p>2005年6月4日改正</p> <p>2017年9月16日改正</p> <p>2018年6月9日改正</p> <p>2023年6月3日改正</p> <p>比較経済体制学会役員選挙細則</p> <p>(選挙)</p> <p>第2条 会則第6条1項が定める役員(以下「役員」とする)は総会において選挙によって会員の中から選出する。</p>	<p>1967年10月27日決定</p> <p>1973年9月22日改正</p> <p>1977年6月4日改正</p> <p>1985年6月8日改正</p> <p>1989年5月20日改正</p> <p>1990年5月18日改正</p> <p>1993年5月28日改正</p> <p>2000年6月2日改正</p> <p>2001年6月1日改正</p> <p>2003年6月6日改正</p> <p>2005年6月4日改正</p> <p>2017年9月16日改正</p> <p>2018年6月9日改正</p> <p>2023年6月3日改正</p> <p>2024年6月29日改正</p> <p>比較経済体制学会役員選挙細則</p> <p>(選挙)</p> <p>第2条 会則第6条1項が定める役員(以下「役員」とする)は総会において選挙によって会員の中から選出する原則として郵便投票またはオンライン投票によって会員の中から選出する。幹事会は役員任期終了の遅くとも3カ月以上前までに選挙管理委員長および委員若干名を任命し、選挙管理委員会を発足させる。選挙管理委員長は幹事の中から任命する。</p>

旧	新
2019年6月22日制定	2019年6月22日制定 2024年6月29日改正
比較経済体制学会若手会員 旅費助成規程	比較経済体制学会若手会員 旅費助成規程
(助成額並びに助成の内容)	(助成額並びに助成の内容)
第4条 旅費助成は毎年度行う。また助成額は、原則として年度あたり総額10万円以内とする。申請者の要する交通費（新幹線指定席特急券・運賃、事前購入割引航空運賃）に対して、領収書に基づき、幹事会の認めた金額を助成する。	第4条 旅費助成は毎年度行う。また助成額は、原則として年度あたり総額10万円以内とする。申請者の要する交通費（新幹線指定席特急券・運賃、事前購入割引航空運賃）に対して、領収書に基づいてき、幹事会の認めた金額を助成する。
(申請方法)	(申請方法)
第5条：第2条による申請は本人が行い、他の会員1名による推薦を必要とする。申請は、事務局による所定書類に基づく。また申請は助成対象となる大会が開催される3ヶ月前までに行うこととする。事前購入割引運賃のものが購入出来ず領収書の提出が見込めない場合、見積書による申請とする。	第5条：第2条による申請は本人が行い、他の会員1名による推薦を必要とする。申請は、事務局による所定書類に基づく。また申請は助成対象となる大会が開催される13ヶ月前までに行うこととする。事前購入割引運賃のものが購入出来ず領収書の提出が見込めない場合、見積書による申請とする。
(採択結果の発表)	(採択結果の発表)
第7条：事務局は、助成対象となる大会が開催される2ヶ月前までに採択結果を申請者に通知すると共に、大会時の幹事会において報告しなければならない。	第7条：事務局は、助成対象となる大会が開催される2週間1ヶ月前までに採択結果を申請者に通知すると共に、大会時の幹事会において報告しなければならない。

(事務局)

比較経済体制学会 2024年度第64回全国大会を終えて

今年度の大会は、6月29日—30日に大阪経済大学で、久しぶりに対面形式で開催されました。2日間で70名の参加がありました。大会初日に共通論題「『一帯一路』はユーラシアをどう変えたのか」が、笹川平和財団「中国学イニシアティブ」との共同共催で行われました。丸川知雄会員からの趣旨説明の後、スリランカ（荒井悦代氏・非会員）、中国（梶谷懐会員）、ロシア（服部倫卓会員）、ユーラシア（福山秀夫氏・非会員）について、報告が行われました。2日目は自由論題セッションが2つと、パネルセッション「制裁で動くモノ・ヒト・カネ：ロシアに焦点を当てて」が組まれ、計10本の報告が行われました。大会運営において、至らない点が多々あったかと思いますが、皆様のご協力で無事大会を終える事ができました。田畑伸一郎代表幹事、事務局の大野成樹会員と大会組織委員の藤井大輔会員、岡崎拓会員、小林拓磨会員には準備段階から大会まで多大な御支援を頂きました。丸川知雄プログラム委員

長、プログラム委員の田畑伸一郎代表幹事、服部倫卓会員、藤井大輔会員にはプログラム編成で大変御尽力を頂きました。関係者の皆様、大会参加者の皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

大会組織委員長
黒坂 真（大阪経済大学）

比較経済体制学会 2025 年度第 65 回全国大会について

比較経済体制学会 2025 年度全国大会は、北星学園大学（北海道札幌市）で開催される予定です。大会組織委員長は金野雄五会員が務められます。詳細は決まり次第、改めてお知らせします。

（事務局）

比較経済体制学会 2025 年度若手会員旅費助成の募集について

比較経済体制学会第 64 回全国大会会員総会で承認された「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」< <https://www.jacesweb.com/award/#toc2> >に基づき、2025 年度若手会員旅費助成を募集しています。希望者は学会事務局に事前連絡の上、所定の申請用紙を大会開催の 1 ヶ月前までに提出してください。

（事務局）

新入会員のご紹介

Adizov Jakhongir Gayratovich 氏 北海道大学・院生（推薦者：樋渡雅人会員・山田大地会員）
金盾氏 北海道大学・院生（推薦者：田畑伸一郎会員・服部倫卓会員）

（事務局）

事務局からのお知らせ（会員情報）

本年度は、会員名簿作成の年です。
後日メーリングリストでご連絡いたしますので、会員情報の確認・修正にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

（事務局）

学会機関誌編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリ一制投稿誌として、年2回発行しています。

学会幹事会の委嘱により、第62巻及び第63巻は、志田仁完（西南学院大学、編集委員長）、鈴木拓（帝京大学、副編集委員長）、小林拓磨（松山大学）、三並康平（帝京大学）、山田大地（広島大学）、横川和穂（神奈川大学）の6名から構成される新しい編集委員会の下で、編集を担当していきます。どうぞよろしくお願い致します。

先日、学会機関誌『比較経済研究』第61巻2号が刊行されました。ご寄稿いただいた先生方には、ご尽力賜りましたことに心より御礼申し上げます。内容は以下の通りです。

論文

市川顕「食糧問題を巡るポーランド＝ウクライナ関係：2024年2月20日の事件を契機として」
岩崎一郎「新興市場諸国の企業犯罪」

書評

杉浦史和『アジア長期経済統計 10 ロシア』（尾高煌之助・斎藤修・深尾京司監修 久保庭眞彰・雲和広・志田仁完編著）

加藤志津子『脱炭素・脱ロシア時代のEV戦略：EU・中欧・ロシアの現場から』（池本修一・田中宏編著）

浅川あや子『中国減速の深層：「共同富裕」時代のリスクとチャンス』（福本智之著）

Abstracts

学会機関誌投稿・執筆要綱

当機関誌では、論文(400字×55枚以内)、研究ノート(400字×45枚以内)、書評(400字×17枚以内)の投稿原稿を随時募集しています。掲載ご希望の会員は、編集委員会アドレス(jaces.edit@gmail.com)まで原稿をご提出ください。

投稿原稿の〆切として、62巻1号(2025年1月刊行予定)は2024年8月末、62巻2号(2025年6月刊行予定)は2025年2月末を予定しております。機関誌の企画及び査読の都合上、上記〆切直近の刊行号に掲載されない場合があります。あらかじめご了承ください。その他に不明な点があれば、編集委員会に気軽にご相談ください。

なお、書評の対象は、会員による著作に限定せず、また日本語書籍に限定せずに広く募集しています。優れた研究成果の情報共有にご協力ください。また、会員の皆様が新著(書籍)を公刊される際には、候補著書として検討させていただきますので、上記編集委員会アドレスまでご一報いただけますようお願い致します。

当学会に連続2年度以上在籍している若手研究者(院生会員及び年齢40歳以下の正会員)が単独執筆した機関誌掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、特に奮ってご投稿ください。

『比較経済研究』は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞ御活用ください。電子版トップページのアドレスは、以下の通りです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>

(学会機関誌編集委員会)

比較経済体制学会第64回全国大会会員総会議事録

[1] 審議事項

1. 2023年度決算について

下記決算書に基づき、事務局より決算報告および発議が行われた。会計監査担当の道上真有会員より、決算に問題がないことが報告された。また、道上会員より当日欠席した齊藤久美子会員のコメントが代読され、会員数が漸減傾向にあり会員の拡大に既存会員の努力をお願いしたいとの付言があった。本項は総会において、承認された。

2023年度比較経済体制学会決算書（2023年4月1日-2024年3月31日）

	2023年度予算(a)	(内訳)	2023年度決算(b)	(内訳)	差額(b-a)
収入の部					
前年度繰越金	3,263,959		3,263,959		0
会費(1)	1,501,200		1,500,000		▲ 1,200
雑収入	0		18		18
合計	4,765,159		4,763,977		▲ 1,182
支出の部					
全国大会開催費補助(2)	300,000		185,287		▲ 114,713
大会組織委員会・プログラム委員会経費	120,000		90,000		▲ 30,000
委員旅費		0		0	
大会招待講演者旅費		70,000		90,000	
その他		50,000		0	
機関誌印刷費	600,000		517,210		▲ 82,790
機関誌編集委員会経費	155,000		175,220		20,220
査読謝礼		0		0	
英文校閲料		5,000		4,400	
人件費		80,000		120,000	
電子版アップロード作業委託料		70,000		50,820	
その他		0		0	
奨助費(3)	0		0		0
会員名簿印刷費	0		0		0
幹事会経費	20,000		22,000		2,000
事務局経費	260,000		177,090		▲ 82,910
印刷費		60,000		0	
機関誌発送費		100,000		82,830	
その他送料		20,000		22,920	
消耗品（文房具等）		20,000		22,611	
送金手数料		5,000		9,180	
人件費		10,000		0	
Webサイト維持費		20,000		23,279	
その他（交通費等）(4)		25,000		16,270	
事務委託費(学会支援機構)	250,000		223,249		▲ 26,751
年度事務委託料		200,000		183,415	
年度事務委託料に含まれない料金・手数料		50,000		39,834	
経済学会連合分担金	30,000		30,000		0
JCREES分担金	30,000		30,000		0
JCREESサマースクール講師料	50,000		71,013		21,013
予備費	50,000		0		▲ 50,000
小計	1,865,000		1,521,069		▲ 343,931
次年度繰越金	2,900,159		3,242,908		342,749
合計	4,765,159		4,763,977		▲ 1,182

(1) 会費収入は2024年3月31日までの入金額
 (2) 第63回大会補助の残金114,713円の返戻
 (3) 次回の賞与は2024年度を予定
 (4) 引継ぎ書籍送料、運営細則英語版校閲料

作成日 2024年5月10日

作成者 大野 成樹

上記の決算書に相違ないことを認めます。

2024年 5月 17日 会計監査

2024年 5月 14日 会計監査

道上真有

齊藤久美子

2. 2024 年度予算について

下記予算書に基づき、事務局より予算の発議がなされ、承認された。

- ・経費は、過年度の実績を参考に編成した。

2024年度比較経済体制学会予算書(2024年4月1日-2025年3月31日)

	2023年度予算	(内訳)	2023年度決算	(内訳)	2024年度予算	(内訳)
収入の部						
前年度繰越金	3,263,959		3,263,959		3,242,908	
会費 ⁽¹⁾	1,501,200		1,500,000		1,486,800	
雑収入	0		18		0	
合計	4,765,159		4,763,977		4,729,708	
支出の部						
次年度全国大会開催費補助 ⁽²⁾	300,000		185,287		300,000	
大会組織委員会・プログラム委員会経費	120,000		90,000		120,000	
委員旅費		0		0		0
大会招待講演者旅費		70,000		90,000		70,000
その他 ⁽³⁾		50,000		0		50,000
機関誌印刷費	600,000		517,210		600,000	
機関誌編集委員会経費	155,000		175,220		155,000	
査読謝礼		0		0		0
英文校閲料		5,000		4,400		5,000
人件費 ⁽⁴⁾		80,000		120,000		80,000
電子版アップロード作業委託料		70,000		50,820		70,000
その他		0		0		0
奨励賞 ⁽⁵⁾	0		0		0	
会員名簿印刷費 ⁽⁶⁾	0		0		240,000	
幹事会経費	20,000		22,000		20,000	
事務局経費	260,000		177,090		260,000	
印刷費		60,000		0		60,000
機関誌発送費		100,000		82,830		100,000
その他送料		20,000		22,920		20,000
消耗品(文房具等)		20,000		22,611		20,000
送金手数料		5,000		9,180		5,000
人件費		10,000		0		10,000
Webサイト維持費		20,000		23,279		20,000
その他(交通費等)		25,000		16,270		25,000
事務委託費(学会支援機構)	250,000		223,249		250,000	
年度事務委託料		200,000		183,415		200,000
年度事務委託料に含まれない料金・手数料		50,000		39,834		50,000
経済学会連合分担金	30,000		30,000		30,000	
JCREES分担金	30,000		30,000		30,000	
JCREESサマースクール講師旅費滞在費	50,000		71,013		50,000	
予備費 ⁽⁷⁾	50,000		0		50,000	
小計	1,865,000		1,521,069		2,105,000	
次年度繰越金	2,900,159		3,242,908		2,624,708	
合計	4,765,159		4,763,977		4,729,708	

(1) (10,000円×144人+4,000円×53人)×0.9 (2024年4月1日現在の会員数)

(2) 2024年度全国大会補助分30万円

(3) 全国大会若手旅費助成を含む

(4) 4万円×2号×1名

(5) 次の賞与は2026年度を予定

(6) 本年度の次は2026年度の発行を予定。2022年度発行費用は学会支援機構の負担により弊学会からの支出はなしとなった。

(7) 緊急対応用

予算は過年度の実績を参考に編成した。

[2] 報告事項

1. 新規入会者・退会者について
2. 研究奨励賞について
3. 2024年度若手会員旅費助成について
4. 機関誌発行・編集状況について
5. 2025年度全国大会について
6. 2025年度若手会員旅費助成について
7. JCREES 幹事会について
8. 日本経済学会連合について

[3] 幹事会報告

[4] 会務報告

(事務局)

JCREES (日本ロシア・東欧研究連絡協議会) 関連の報告

1. 幹事会改革

JCREES 幹事会のジェンダーバランスをはかるため、2022年度から、参加学会は幹事会に幹事2名を出すことができるようになり、2名出す場合は少なくとも女性1名を含むことになりました。2023年度からは、本学会からも、代表幹事に加えて、安達祐子幹事がJCREESの幹事となりました。

2. サマースクールの開催

スラブ・ユーラシア地域の研究を志す学生を増やし、学生による同地域の学際的研究を支援・奨励することを目的としたJCREESスラブ・ユーラシア研究サマースクールが今年も8月28日、29日に北海道大学で開催される予定です。本学会からは金野雄五幹事がサマースクールの企画選考委員になっており、道上真有会員(新潟大学)が講師の1人となる予定です。

3. ICCEES (国際中欧・東欧研究協議会) ロンドン大会

5年ごとに開催されているICCEESの世界大会は、2025年7月21~25日にロンドン(University College London)で開催される予定です。自由論題報告の応募締切は10月31日です(<https://www.iccees2025.org/>)。

中国、韓国などとの間でローテーションで開催されているICCEESのスラブ・ユーラシア研究東アジア大会は、6月28~29日にソウルの漢陽大学校で開催されました。

(代表幹事)

事務局だより

本学会事務局の担当をはじめ1年が経過し、ようやく会務、会計等の処理に慣れてきました。今後とも皆様のご意見・ご要望を出来るだけ取り入れられるよう努めつつ、引き続き会の運営を行ってまいります。

(事務局 大野成樹・安達祐子)

ニュースレターNO.71 発行

2024年8月31日

比較経済体制学会事務局

会務・会計担当：

079-8501 北海道旭川市永山 3-23-1-9
旭川市立大学経済学部 大野成樹

メンバーシップ・WEB サイト担当：

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学外国語学部 安達祐子

事務局メールアドレス：

adm@jacesecon.sakura.ne.jp